



【記者発表資料】
令和4年1月21日
九州地方整備局

「2022 海域港湾空港技術報告会 in 福岡」の開催

九州地方整備局では、海域・港湾・空港を取り巻く様々な課題解決に向けて、民間企業、大学などと産学官の協働による技術開発を行っているところです。

本報告会は、全国的に高い評価を得ている最先端の技術開発の現状や九州・下関地区で取り組まれている最新の技術情報等を関係者間で広くかつタイムリーに共有することにより、課題解決に向けた技術開発の促進に寄与することを目的とし、九州大学との共催により「2022 海域港湾空港技術報告会 in 福岡」を下記のとおり開催するものです。

なお、本技術報告会は(公社)地盤工学会のCPDプログラム認定を受けております。

記

- 日 時 令和4年2月25日(金) 13:00～17:50 (12:00 開場)
- 場 所 一般聴講者は、Microsoft Teams による WEB 開催。講演者は来場又は WEB。
- 主 催 九州地方整備局 港湾空港部
九州大学大学院 工学研究院 海域港湾環境防災共同研究部門
- プログラム 別添のとおり

【問い合わせ先】

国土交通省 九州地方整備局 港湾空港部 海洋環境・技術課 課長 橋本 順二
課長補佐 近藤 利彦
係長 萩元 幸将

TEL : 092-418-3380 FAX : 092-418-3032

「2022 海域港湾空港技術報告会 in 福岡」プログラム
(プログラムは現時点における案であり、今後一部変更となる場合がございます)

令和4年2月25日(金)、WEB

第Ⅰ部 全国の先進的土木技術の紹介

GWM と AI を利用した1週間沿岸波浪予測 ※令和2年度 日本港湾協会賞 論文賞
間瀬 肇[京都大学 防災研究所 名誉教授]

第Ⅱ部 注目される最新の技術動向について

港湾工事等に係る新たな課題への対応について
村岡 猛[一般社団法人 日本埋立浚渫協会 参与]

不均質な浸透固化処理地盤の品質の評価について
長山 達哉[博多港湾・空港整備事務所長]

第Ⅲ部 産学官の技術展望

カーボンニュートラルポート実現に向けた展望
杉村佳寿[九州大学 工学研究院 海域港湾環境防災共同研究部門]

博多港国際コンテナ・ターミナルにおける脱炭素化への取組について
日吉 一洋[博多港ふ頭株式会社 コンテナ事業部 部長]

コンテナターミナルにおける省エネ・脱炭素技術
篠田岳思[九州大学 工学研究院 海洋システム工学部門]

浚渫土砂のブロック化による有効活用について
笠間清伸[九州大学 工学研究院 社会基盤部門]

軽石漂流の沿岸域への適用 港湾技術コンサルタンツ協会推薦
白木喜章[株式会社エコー 防災系事業部 環境解析部 上席技師]

新門司沖土砂処分場(Ⅱ期)事業におけるICTの取組みについて
西野 智之[北九州港湾・空港整備事務所 第二工務課長]

港湾工事におけるCIM実施例について 一般社団法人日本埋立浚渫協会 推薦
石原慎太郎[みらい建設工業株式会社 技術本部 技術部長]

ICT活用土工事について 九州港湾空港建設協会連合会 推薦
津田 海[宮川建設株式会社 工事部]